

●評価指標

施策の効果を確認し、達成度の検証を図るため、基本方針ごとに取組指標（アウトプット指標）と成果指標（アウトカム指標）を定めた。

- ・ アウトプット指標：事業を実施することによって直接発生した成果物・事業量を表す指標
- ・ アウトカム指標：施策の実施により発生する効果・成果を示す指標

◆ 基本方針1 自転車利用環境が整うまちづくり

■取組指標

取組方針	施策の方針	取組指標（アウトプット）	現状 ※1	目標 ※2
安全で快適な 自転車通行空間の整備	自転車ネットワーク路線の設定・整備	自転車通行空間の整備延長	3.3km	実施計画の目標値による
	鉄道駅周辺の自転車通行空間整備	整備箇所数（駅数）	1箇所	実施計画の目標値による
鉄道駅周辺を重点とした 利用者にやさしい 駐輪環境づくり	新たな駐輪スペースの確保	新たな駐輪施設の整備箇所数（新設・増設）	0	実施計画の目標値による
	既存駐輪施設の利用環境の向上	有料化の実施箇所数	3箇所	実施計画の目標値による
		機械化の実施箇所数	6箇所	実施計画の目標値による

※1. 現状値は、ふじさわサイクルプラン（藤沢市自転車活用推進計画）【実施計画】の第1期での整備状況。（市管理施設）

※2. 目標値は、ふじさわサイクルプラン（藤沢市自転車活用推進計画）【実施計画】に示す整備目標。（市管理施設）

■成果指標

取組方針	成果指標（アウトカム）	現状 ※3	目標
安全で快適な自転車通行空間整備	自転車の走りやすさの満足度	14.5%	向上を目指す
鉄道駅周辺を重点とした利用者にやさしい駐輪環境づくり	自転車の駐輪施設の場所や設備の満足度	15.1%	向上を目指す

※3. 現状値は、令和5年度に実施した「交通に関する市民意識調査」の結果。

●評価指標

◆ 基本方針2 自転車を安全に利用できるまちづくり

■取組指標

取組方針	施策の方針	取組指標（アウトプット）	現状 <sup>※4</sup>	目標
交通ルールの遵守・マナーの向上に関する意識の醸成	交通安全啓発活動の充実	交通安全教室の開催数	201回	220回

※4. 現状値は、令和4年度の交通安全教室の開催実績。

■成果指標

取組方針	成果指標（アウトカム）	現状 <sup>※5</sup>	目標
交通ルールの遵守・マナーの向上に関する意識の醸成	自転車事故の割合	32.8%	改善を目指す

※5. 現状値は、令和4年の全事故発生件数に占める自転車事故件数の割合。（藤沢市内の交通事故統計より）

◆ 基本方針3 自転車を活かしたるまちづくり

■取組指標

取組方針	施策の方針	取組指標（アウトプット）	現状 <sup>※6</sup>	目標
自転車の利用促進	公共交通との連携の促進	サイクルアンドバスライド施設の箇所数	4箇所	8箇所
		シェアサイクルポートの箇所数	127箇所	増加を目指す

※6. 現状値は、令和5年9月時点での箇所数。

■成果指標

取組方針	成果指標（アウトカム）	現状 <sup>※7</sup>	目標
自転車の利用促進	週1回以上自転車に乗る人の割合	35.4%	向上を目指す

※7. 現状値は、令和5年度に実施した「交通に関する市民意識調査」の結果。